

## 石川県小松市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	酒米作付面積【2.3】	2020年 13.0 ha	2022年 19.5 ha			2030年 25 ha	54%
2	女性全体の就業率【5.C】	2015年 53.8 %	2020年 55.5 %			2030年 65 %以上	15%
3	若者、女性、シニアの就業率【8.3】 （20～34歳（学生等除く））	2015年 96.0 %	2020年 96.0 %			2030年 100 %	0%
4	若者、女性、シニアの就業率【8.3】 （20～64歳女性）	2015年 78.3 %	2020年 81.6 %			2030年 85 %	49%
5	若者、女性、シニアの就業率【8.3】 （65歳以上）	2015年 26.3 %	2020年 28.6 %			2030年 40 %	17%
6	一人当たりの製造品出荷額 【9.2, 9.3】	2020年 3,634 万円/人	2021年 4,138 万円/人			2030年 4,500 万円/人	58%
7	①いきいきシニア率【3.4】	2020年 70.5 %	2022年10月 71.5 %			2030年 75.0 %以上	22%
8	②かがやきシニア率【3.4】	2020年 84.8 %	2022年10月 85.5 %			2030年 85.0 %以上	350%
9	はつらつ市民数【4.7】	2020年 1,314 人	2023年8月 1,990 人			2030年 12,000 人	6%
10	多文化共生リーダー数【10.2】	2020年 254 会員	2022年 222 会員			2030年 420 会員	-19%
11	「幸せへの道しるべ」総合得点 【16.6】	2020年 397.7 点(満点600点)	2022年 データなし 点(満点600点)			2030年 480 点(満点880)	—
12	木場湯COD値【6.6】	2019年 7.7 mg/ℓ	2022年 7.7 mg/ℓ			2030年 3.0 mg/ℓ以下	0%
13	リサイクル率【12.5】	2020年 23.1 %	2022年 25.2 %			2030年 35.0 %	18%
14	海浜エリア植林数【14.5】	2020年 8,268 本	2022年 13,054 本			2030年 10,000 本	276%
15	生態系回復数【15.1】	2020年 7 種	2022年 9 種			2030年 15 種	25%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2024年 目標値	達成度（%）
1		女性全体の就業率	2015年 53.8 %	2020年 55.5 %			2020年 60 %	27%
2	① 国際化時代へ、たくましい産業を創生	新産業創出等による新規就労者数	2020年 238 人	2022年 333 人			2024年度 300 人	153%
3		一人当たりの製造品出荷額	2020年 3,634 万円/人	2021年 4,137.7 万円/人			2024年 4,000 万円/人	138%
4	② 里山ビジネスの高度化とブランド化	酒米作付面積	2020年 13.0 ha	2022年 19.5 ha			2024年 20.0 ha	93%
5		6次産業の一人当たりの製造品出荷額	2019年 1,203 万円/人	2021年 1,141 万円/人			2024年 1,500 万円/人	-21%
6	③ 予防先進の政策展開で超高齢時代に対応	いきいきシニア率	2020年 70.5 %	2022年10月 71.5 %			2024年 75.0 %	22%

## 石川県小松市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
7		はつらつ市民数	2021年8月 1,314 人	2023年8月 1,990 人			2024年 6,000 人	14%
8	④ 主観的幸福感を追求した質の高い地域づくり	多文化共生リーダー数	2020年 254 会員	2022年 222 会員			2024年 320 会員	-48%
9		地域幸福度（Well-Being）指標偏差値	2020年 —	2022年 49.28			2024年 52	95%
10		木場潟COD値	2019年 7.7 mg/ℓ	2021年 7.7 mg/ℓ			2024年 5.0 ±1mg/ℓ以下	0%
11	⑤ 市民・団体・企業主導の環境プロジェクトを拡大	環境推進活動者数 [水辺]	2020年 2,200 人	2022年 4,635 人			2024年 9,000 人	36%
12		生態系回復数	2020年 7 種	2022年 9 種			2024年度 10 種	67%
13	⑥ 地球にやさしい市民意識と行動力を世界に発信	リサイクル率	2020年 23.1 %	2022年 25.2 %			2023年度 26.0 %	72%
14		可燃ごみ排出量	2020年 25,422 トン	2022年 25,762 トン			2023年度 16,000 トン以下	-4%
15	⑦ 多様なパートナーシップによる未来型まちづくり	多様な連携事業数	2020年 13 件	2022年 41 件			2023年度 12 件（2022～2024年の合計で新規）	342%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

- 【指標1、指標2】空港周辺等の安宅新産業団地の整備工事が完了、スタートアップ企業の創業支援補助金や、人材育成（リスクリング）への支援事業拡充等により、さらなる新産業の創出や新規就労者数、女性就業者の増加を目指す。
- 【指標5】提案時のモデル事業としては、ジビエの産業化について、R1年獣肉の生産加工拠点「ジビエアトリエ 加賀の國」を新設。地域おこし協力隊を任用し、イノシシの利活用と県内外への販路拡大を推進を目指す。（処理頭数はR1は51頭、R2は198頭、R3は70頭、R4は154頭）また、木場潟環境共生プロジェクトについては、様式2において記載。小松とまとうハウス栽培のICT化事業など農家の栽培技術の底上げを図るとともに、生産のマニュアル化を推進し、収量と品質の向上を目指している。
- 【指標7】はつらつ市民数（市民大学受講者数）について、R4年度から小中学生を対象としたジュニアコースを新たに設け、若い世代から学びの意欲を育成する取組を開始し、受講者数増加を図る。
- 【指標8】多文化共生リーダー数について、当初値より減少しているが、コロナ禍で外国人と市民の交流活動の機会が激減したことが会員減少の原因の一つと考えられる。しかし外国人住民数は増加傾向にあるため、今後も日本人・外国人が分け隔てなく地域で共生できるコミュニティづくりを進めていく。
- 【(1)指標11(2)指標9】「幸せへの道しるべ総合得点」が昨年度から引き続きデータなしとなったため、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートがR4年7月～実施の「地域幸福度（Well-Being）指標の偏差値」を新たな指標として検討している。デジタル田園都市国家構想では、「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）の実現に向けた取組の指標として地域幸福度を活用しており、本市でも来年3月の北陸新幹線小松開業による機運上昇など、心豊かな暮らしの変化を可視化するため、次年度に向け計画改定を検討中。
- 【指標13、指標14】リサイクル率向上、ごみ減量化への取組として、R5年度より新ごみ制度導入や、フードドライブ窓口拡充等食品ロス削減の推進を実施。次年度以降、廃食油回収やリサイクルのスキーム検討を実施予定。
- 【指標15】多様なパートナーシップについて、企業や大学等との連携協力をさらに進め、行政だけでは解決が難しい課題を、企業や大学等の知見や専門性を取り入れ解決につなげる。